

板橋区立板橋第十小学校

施設概要



ITABASHI



地域が支え、地域と共に学びあう教育の場をつくります。

～「4つの柱」を施設計画のコンセプトとして、板橋第十小学校は新しく建て替えられました。～

1 地域と連携する

- 学校を支える地域の活動拠点として、「地域連携兼PTA活動室」を1階の開放ゾーンに配置し、PTAや地域が学校の管理時間外にも利用できる計画としました。
- 「まちかどポケットパーク」や「自主管理歩道」を整備し、安全な通学路を確保するとともに学校、地域の交流の場を形成しました。
- 「まちかどギャラリー」を設置して、児童の学習成果や展示発表等を地域に対して発信しています。

2 主体的・協働的な学びを育てる

- 各学年に「オープンスペース」を設け、アクティブラーニングを促進するとともに、マルチスペースとしても利用できる計画としました。
- 図書室を学校の中心に配置し、内装や家具・什器にあたたかみのある日光産材を使用することで、「だれもが利用しやすい図書室」を形成しました。
- 児童同士が楽しく交流できるように配慮したトイレや、手洗いコーナーを計画しました。

3 変化に対応する工夫

- 多目的室や会議室、PC室を普通教室と同じ大きさとするこで、児童数が変化したときの教室数に対応できる計画としました。
- 職員室のレイアウト改革を行い、教職員の働き方の変化に対応できるフレキシブルな職員室を形成しました。
- 災害時にも避難所として対応できるよう、炊き出し時を考慮し、給食室と体育館を近接させるとともにマンホールトイレや防災備蓄倉庫を設置し、災害の発生後からも対応できるような計画としました。

4 安全・安心をつくる

- 職員室を2階の中央部に配置し、職員室から校庭全体が見渡せる計画としました。
- 敷地周囲に「自主管理歩道」や「オープンスペース」を設け、視界を遮らないようにすることで、周辺道路の安全性を高めました。
- 車いす利用者用EV、バリアフリートイレの設置やサイン計画など、だれもが利用しやすい施設づくりを行いました。

学年の絆を大切にするため、各階に「学年のまとめり」を配置します。



1F-2 情報を発信するまちかどギャラリー

敷地周辺の歩道部分にポケットパークを計画し、ベンチ等を設置して地域の方が交流できるような計画をしました。また、ポケットパークには、学校の展示スペースとなる「まちかどギャラリー」を設置して学校から地域へ情報を発信できる場を設けています。



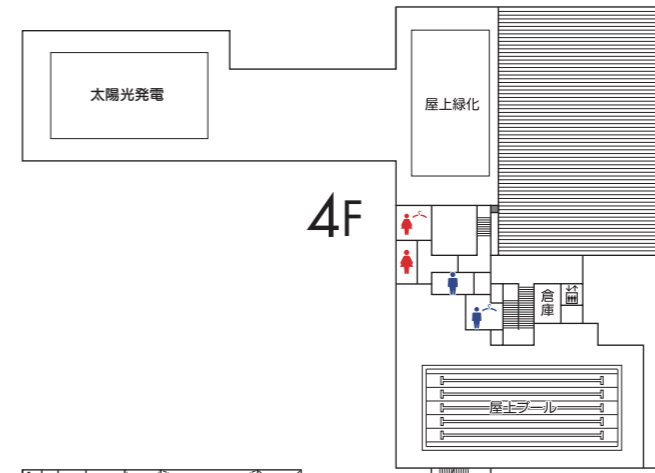
1F-3 自然採光を取り入れた明るい屋内運動場

自然採光や自然換気を積極的に取り入れて明るい空間とするとともに、体育館内での活動を2階・3階から観覧できるようにするため、開口部を多く設置しました。夏場の熱中症対策や災害時に備えて冷暖房空調を設置しています。また、避難所利用に配慮し、昇降口や炊き出し用の家庭科室、保健室、防災備蓄倉庫を近くに配置しています。



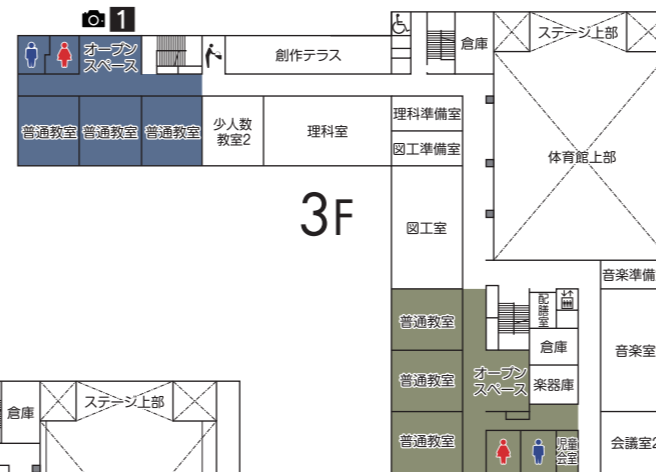
1F-1 地域の顔となる正門

改築前から設置されている赤レンガの門を、南側道路沿いのシンボルツリーとなるケヤキのそばに正門として設置しました。門の意匠は既存のデザインを継承しています。地域のランドマークとなる大谷口給水ポンプ塔とともに地域の顔となるような計画としています。



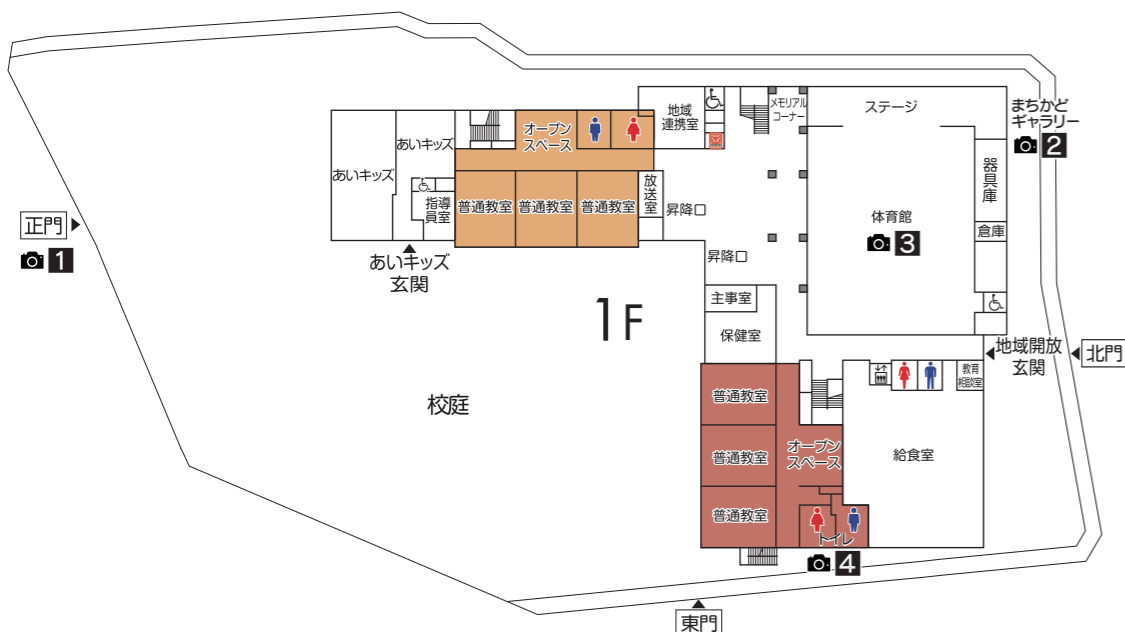
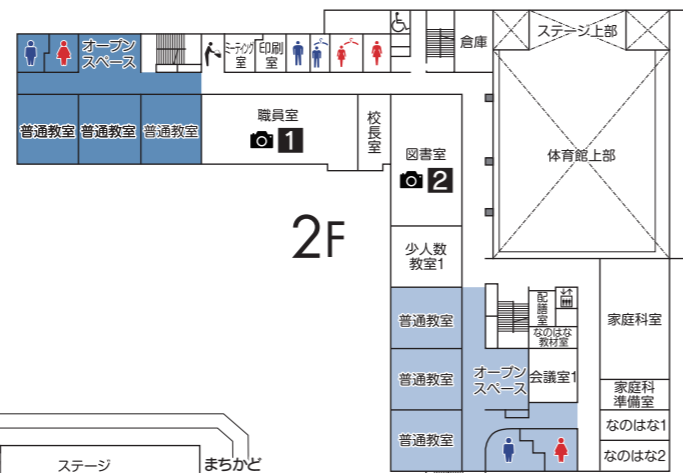
1F-4 明るく楽しいトイレ空間

児童同士が楽しく交流できるように、明るい空間のトイレとしました。各トイレに開口部を設けることで自然採光や自然換気を積極的に取り入れています。また、学年ごとのアクセントカラーを決め、「学年のまとめり」を意識した色彩計画としました。



2F-1 新たな働き方をめざした職員室

教職員の働き方改革の一環として、職員室のフリーアドレス化を行いました。教職員の私物を個人ロッカーに収納してデスクフリーにすることで、個人業務から打合せ、教材等の製作まで、机の組み合わせにより用途や人数に合わせてフレキシブルに使うことができる家具計画となっています。



3F-1 学年のまとめりとオープンスペース

個別学習・協働学習・発表活動等の主体的・能動的な学習活動（アクティブラーニング）を行うため、「オープンスペース」を設置しています。また、「学年のまとめり」を大切にするため、学年ごとの教室・オープンスペース・トイレ・階段を一つのユニットとして1～3階に配置する計画としています。



2F-2 利用しやすく、あたたかみのある学校図書室

児童が利用しやすいように学校の中心部に学校図書室を配置しました。また「みどり文化の交流協定」に基づき、内装材や什器に日光杉を使用することで、児童が落ち着いて本を読むことができる、あたたかみのある空間としています。

所在地	板橋区大谷口上町43番1号
建物用途	小学校
設計・監理	石本・楠山設計共同企業体
施工	
建築・環境整備	共立・山生建設共同企業体
電気設備	渡部・光栄建設共同企業体
空調換気	大三島・城北設備建設共同企業体
給排水衛生	桶川・榎本建設共同企業体
昇降機	三精テクノロジーズ株式会社

設計期間

基本設計
平成28(2016)年9月～平成29(2017)年5月

実施設計
平成29(2017)年6月～平成30(2018)年3月

工事期間

一期解体
平成30(2018)年7月～平成31(2019)年3月

校舎棟
平成31(2019)年4月～令和2(2020)年9月

二期解体
令和2(2020)年10月～令和3(2021)年2月

別棟・環境整備
令和3(2021)年4月～令和3(2021)年12月



■ 建築・設備概要

【建築概要】

敷地面積	8,832.61㎡
建築面積	3,571.38㎡
延床面積	8,203.82㎡
建ぺい率	40.43%(許容86.50%)
容積率	91.36%(許容232.50%)
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
規模	地上4階
最高高さ	18.06m
道路幅員	南20m、南東10.95m、北4.55m、東4m、西4m
用途地域	第一種中高層居住専用地域、近隣商業地域、
防火指定	防火地域、準防火地域、
地域地区	第二種高度地域(絶対高さ22m)、 第三種高度地区(絶対高さ30m)(絶対高さ35m)、
施設詳細	1階 普通教室、体育館、給食調理室、保健室、 主事室、昇降口、あいキッズ 2階 普通教室、図書室、家庭科室、特別支援室、 職員室、校長室、会議室 3階 普通教室、理科室、図工室、音楽室、会議室 4階 男子プール更衣室、女子プール更衣室、 屋外プール

【主な設備】

◆電気設備

- 受変電設備屋：屋外型キュービクル(トップランナー2014変圧器第二次判断基準適合)
- 太陽光発電設備：単結晶系シリコン太陽電池 設備容量22kW
- 照明設備：LED照明器具、人感センサー

◆空調・換気設備

- ガス式ヒートポンプマルチ空調方式：GHP室内機
- 電気式ヒートポンプマルチ空調方式：EHP室内機
- 全熱交換換気設備
- 個別空調方式
- 個別換気設備

◆衛生設備

- 給水：直結増圧給水方式、直結給水方式
- 給湯：局所給湯方式
- 排水：合流方式(汚水・雑排水)、雨水はトラップ枡を経て合流
- ガス：給湯器、コンロ、空調熱源、厨房調理機器

◆昇降機設備

- エレベーター：13人乗 積載荷重900kg
車椅子対応トランク付×1基
- 小荷物専用昇降機：積載荷重300kg ×1基

◆その他設備

屋内消火栓設備、消火器、プール濾過設備、校庭散水設備、雨水貯留設備、雨水浸透設備、防火水槽、構内情報通信網設備、構内

交換設備、テレビ共同受信設備、時計表示設備、インターホン・トイレ呼出設備、火災報知設備、拡声設備、非常押釦設備、映像音響設備、防災無線等配管設備、監視カメラ設備、舞台機構・舞台幕設備、舞台照明設備、舞台音響設備、電力等計測設備

【主な外部仕上げ】

- 屋根** アスファルト防水+押えコンクリート(AI-1工法)、一部アスファルト露出防水(C-1)
- 外壁** コンクリート打放し+防水形複層塗材E(フッ素耐候性3種凸処理)、一部特殊樹脂化粧型枠コンクリート化粧打放し+フッ素樹脂クリアー、一部磁器質タイル張り
- 庇・リブ** ハニカム庇、コンクリート化粧打放し+フッ素樹脂クリアー
- 創作テラス** アスファルト防水 押えコンクリートの上+人工木デッキ
- 建具** アルミサッシ(カラー)、スチールサッシ(焼付塗装)
- 外通路** ウレタンゴムチップ舗装

【主な内部仕上げ】

- 普通教室・オープンスペース**
床：ノーワックスビニル床タイル(木目)／
壁：石膏ボード+EP-G／天井：岩綿吸音板
- 図書室**
床：木製複合フローリング／腰壁：日光杉／
壁：石膏ボード+EP-G／天井：岩綿吸音板
- 家庭科室**
床：耐熱ビニル床シート／
壁：石膏ボード+EP-G／天井：石膏ボード+EP-G
- 理科室**
床：耐薬品耐熱ビニル床シート／
壁：石膏ボード+EP-G／天井：岩綿吸音板
- 図工室**
床：ノーワックスビニル床シート／
壁：有孔合板+EP-G／天井：岩綿吸音板
- 音楽室**
床：ノーワックスビニル床タイル(木目)／
壁：有孔複合板／天井：岩綿吸音板
- 体育館**
床：体育館用鋼製床+木製複合フローリング／
壁：システム壁+天然目化粧合板(有孔・無孔)／
上壁：有孔合板+EP-G／天井：断熱複合板
- 昇降口**
床：磁器質タイル、ノーワックスクッションビニル床シート／
壁：石膏ボード+EP-G天井：岩綿吸音板
- あいキッズ**
床：ノーワックスビニルクッション床シート／
壁：石膏ボード+EP-G／天井：岩綿吸音板

【家具・インテリア概要】

●普通教室廻り

家具は木の温もりのある家庭的な雰囲気の木目調で統一。内装インテリアも床は木目調とし、壁も暖かみがあり落ち着いた感のあるウォームグレーとしている。

●特別教室廻り

各教科毎にテーマカラーを決め、家具でポイントカラーを表現し、各教科毎に床・壁・天井の材質やインテリアも含め、意匠・機能的にまとめ学習意欲が出るよう工夫している。
また、教室内部の活動が伺えるよう廊下側にガラスを多用し、明るく開放的な雰囲気としている。

●体育館廻り

床・壁は木調でまとめ、上壁はボール等が見えやすいグレー系としている。快適な音空間確保のため、壁に有孔合板^{※1}を多用し天井も含め残響処理を施している。また、床及び壁はクッション性の有る鋼製床下地組^{※2}及びシステム壁下地組^{※3}とし安全面にも配慮している。

●トイレ廻り

家具・床・壁・トイレブースにて学年毎のアクセントカラーを設定、児童の心身の特徴色とその意味を色として設定し、3色の組合により学校のトイレが児童の成長と共に心身をほっとさせ、落ち着いたのある場所・友達と和やかなコミュニケーションや交流の場所として機能するよう計画している。

トイレの取組みについて

日本トイレ協会に認められ「2020年度グッドトイレ選奨」に選ばれました。

●廊下・階段廻り

各階フロアー別、階段別に普遍的なテーマカラーを設定し、児童自身が自分は学校の何処にいるか、瞬時に認識できるようにしている。また、移動ルートの設定を「黄色の廊下と青色の階段を通過して音楽室に移動する」というように、分かりやすくしている。

●サイン計画

ユニバーサルデザインに配慮し、ピクト表示や英語併記に重点をおいて計画している。

特に特別教室廊下側の側壁には、直感的にどのような学習をする部屋なのかを、掲示板兼用の大きなピクト表示としている。また、内部サインの一部や外部サイン等は板橋区のサイン計画ガイドラインに基づき設置している。

※1 有孔合板…吸音性のある穴あき板

※2 鋼製床下地組…鋼製の支持脚・大引・根太などの部材で構成されており、運動競技に求められる機能性や耐久性に優れている

※3 システム壁下地組…鋼製の下地材で構成されており、スポーツ競技時の衝突の軽減に優れている

■ 改築事業経過

- 平成21年 3月 「板橋区立学校施設あり方検討会報告書」策定
- 平成28年 2月 「板橋区立板橋第十小学校改築検討会報告書」を策定
- 平成28年 3月 「板橋区立学校施設標準設計指針～基本理念編～策定
- 平成28年 3月 「板橋第十小学校基本構想・基本計画報告書」を策定
- 平成28年 7月 プロポーザル方式により「石本・楠山設計共同企業体」を選定し、「区立板橋第十小学校・上板橋第二中学校改築基本設計及び実施設計業務委託」を実施
- 平成29年 3月 「区立板橋第十小学校改築基本設計書」完了
- 平成29年 9月 校庭にある既存プールを解体
- 平成30年 3月 仮設校舎建設
「区立板橋第十小学校改築実施設計書」完了
- 平成29年 8月 改築工事 着手
- 令和 2年 9月 新校舎完成！ 供用開始、仮設校舎解体、外構工事
- 令和 4年 2月 板橋第十小学校 しゅん工

■ アクセス



電車の場合

- 「千川」駅より徒歩15分 東京メトロ有楽町線または副都心線
- 「大山」駅より徒歩15分 東武東上線

バスの場合

- 「池袋」よりバス10分
国際興業バス池05系統「日大病院」行き 約15分
終点「日大病院」下車、南へ徒歩1分

板橋区立板橋第十小学校

〒173-0032

板橋区大谷口上町43番1号

TEL 03-3956-8110 FAX 03-5995-8343

URL <http://www.ita.ed.jp/edu/ita10es/>

